

## 行事予定 (2014年)

- 5月25日(日) 第83回教育セミナー
- 5月30日(金) 第2回全国幹事会
- 5月30日(金) 第4回生涯教育講習会
- 5月30日(金) 第24回日本臨床検査  
～31日(土) 専門医会春季大会
- 5月31日(土) 第44回日本臨床検査  
専門医会総会
- 7月24日(木) 第31回臨床検査振興  
セミナー
- 9月27日(土) 第2回常任幹事会
- 11月22日(土) 第3回全国幹事会
- 11月22日(土) 第45回日本臨床検査  
専門医会総会
- 12月20日(土) 第3回常任幹事会

## 巻頭言

日本臨床検査専門医会  
春季大会長 清水 力

青葉の候、皆様にはいっそうご活躍のこととお慶び申し上げます。

このたび第24回を迎える日本臨床検査専門医会春季大会の当番を仰せつかりました北海道大学病院の清水でございます。このような貴重な機会をお与え下さいました、日本臨床検査専門医会会長の佐守友博先生をはじめ諸先生の皆様に感謝申し上げます。

この伝統ある春季大会ですが、北海道での開催は今回で4回目(平成6年札幌医科大学黒川一郎先生、平成11年札幌医科大学渡邊直樹先生、平成19年旭川医大伊藤喜久先生が大会長)の開催となります。昨年度の春季大会(杏林大学渡邊卓先生大会長)は新たな試みとして箱根という日本有数の温泉地に泊まってのフリーディスカッション方式の大会で多くの会員の皆様方の生の声をお聞きすることができた大変有意義な大会でしたが、会を進める側にとってはたいへん難しいものであったかと推察いたします。これはひとえに渡邊先生の卓越した運営能力のたまものであり、当然そのような能力を持ち合わせていない小生といたしましては、ごくオーソドックスな従来型の春季大会に戻らざるを得ません。第24回春季大会は平成26年5月31日(土)に北海道大学医学部学友会館「フラテホール」にて開催いたしますが、従来どおり、大会前日には関連行事として生涯教育講演会を予定しています(春季大会の詳細については日本臨床検査専門医会ホームページをご参照下さい)。教育研修委員会委員長である慶応大学菊池春人先生の「せっかく北海道で大会を開催するのだから一つの演題は北海道らしいものを」というご指示のもと、北海道大学病院医療情報企画部部長の遠藤晃先生と酪農学園大学の山口昭弘先生にご講演を賜ることになっています。遠藤先生は私たち検査部を管理する立場のものとして知っておかねばならない病院情報システムのセキュリティについて、山口先生には、農畜産物が製品化されるまでの品質管理やトレーサビリティについてお話ししていただけるものと思います。生涯教育講演会の終了後、学内レストランの「エルム」にて懇親会を用意しておりますので、北海道産の美味しいものを食しながら旧交を温めていただければと存じます。さて、翌日の本大会ですが、午前は各領域のエキスパートの先生によるミニレクチャーを、ついで道産農畜産物の付加価値を高めるべく、あらたな健康維持へのメリットを見いだすため、健康人コホートを構築しひろく治験を実践しておられる北海道情報大学西平順先生にその概要についてお話を伺います。北海道大学病院内科IIの渥美達也先生(膠原病がご専門)によるランチョンセミナーをはさんで、総会、そして企業共催セミナーとして、名古屋市立大学田中靖人先生による最近話題のB型肝炎ウィルスの再活性化について最新のお話を承ります。最後に、職場のメンタルヘルスの現状についてミニシンポジウムを企画いたしました。周辺知識を習得すべく北海道大学病院神経精神科の中川伸先生からのご講演の後、私の産業医活動のパートナーで北海道大学病院安全衛生管理者である蓮池清美師長から北海道大学病院におけるメンタルヘルスの取り組みと現状を、ついで皆様にお願ひしておりましたアンケート調査についてのまとめをお伝えした後、フリーディスカッションを行いたいと考えています。

北海道はこの時期一気に緑が萌えるさわやかな季節でございます。また、一年を通して美味しい食材が豊富な土地でもございます。この機会を利用して情報交換を行っていただくのも良し、また多忙な日常を忘れる意味でも、お誘い合わせの上多数の会員の皆様のご参加をお待ちしております。

### 【目次】

- p.1 巻頭言
- p.2 事務局からのお知らせ、平成26・27年度役員のお知らせ、平成26・27年度各種委員会委員のお知らせ
- p.3 平成26年度行事予定、第83回教育セミナーについて、平成26年度第24回春季大会のお知らせ、第4回生涯教育講演会のお知らせ、平成26年度会費振り込みのお願い、住所変更・所属変更に伴う事務局への通知について
- p.4 会員の声：臨床検査専門医となって、7年越しの挑戦
- p.5 ごあいさつ、臨床検査専門医試験を終えて
- p.6 臨床検査専門医試験を受験して、編集後記

### 会員の皆様へ

広く「会員の声」を募集しております！  
テーマは自由、文字数も自由です。  
是非ともご意見をお寄せください。

#### 【テーマの例】

- ・自己紹介や検査室のご紹介
- ・様々な技術・ご経験のご紹介

投稿方法：編集主幹の増田まで、メールにてお送りください。

E-mail: [amasuda-ky@umin.ac.jp](mailto:amasuda-ky@umin.ac.jp)

ご寄稿をお待ち申し上げます。

JACLaP NEWS 編集室 増田 亜希子(編集主幹)

〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学医学部附属病院 検査部内

TEL: 03-3815-5411 内線 37477/Fax: 03-5800-8806

E-mail: [amasuda-ky@umin.ac.jp](mailto:amasuda-ky@umin.ac.jp)

## 【事務局からのお知らせ】

## 《会員動向》

2014年4月24日現在数746名、専門医587名

## 《新入会員》（敬称略）

塩之入千恵子：JCHO 東京新宿メディカルセンター臨床検査科  
高橋 尚彦：大分大学医学部循環器内科・臨床検査診断学講座  
新村祐一郎：中東遠総合医療センター  
志村 浩己：福島県立医科大学臨床検査医学講座  
鈴木 博義：独立行政法人国立病院機構仙台医療センター  
竹之内和則：鹿児島大学血管代謝病態解析学  
木下 喜光：社会医療法人生長会阪南市民病院救急・総合診療科  
白木 克哉：三重大学医学部第1内科  
千葉 泰彦：横浜市立市民病院検査部  
三枝 淳：神戸大学医学部附属病院検査部  
山崎 朋子：公立学校共済組合九州中央病院臨床検査科  
堀田 綾子：独立行政法人国立病院機構相模原病院  
大塚 洋子：東京女子医科大学東医療センター検査科  
横井 豊彦：関西医科大学附属滝井病院  
浅香 志穂：信州大学医学部附属病院臨床検査部  
坂谷 暁夫：広島赤十字原爆病院病理診断科  
小笠原洋治：東京慈恵会医科大学腫瘍・血液内科

## 《所属・その他変更》（敬称略）

若狭 朋子：旧 大阪赤十字病院  
新 近畿大学医学部奈良病院臨床検査部  
木村 聡：旧 昭和大学横浜市北部病院臨床検査科准教授  
新 昭和大学横浜市北部病院臨床病理診断科教授  
紀野 修一：旧 旭川医科大学病院 臨床検査・輸血部  
新 日本赤十字社北海道ブロック血液センター  
副所長  
土屋 達行：旧 日本大学医学部臨床検査医学分野  
新 けいゆう病院臨床検査科  
田窪 孝行：旧 大阪医科大学臨床検査医学教授  
新 城山病院理事・検査科部長  
介護老人保健施設きし施設長  
小林実喜子：旧 信州大学医学部附属病院臨床検査部  
新 信州大学医学部医学科病理組織学講座  
大林 光念：旧 熊本大学大学院生命科学研究部病態情報解析学  
新 熊本大学大学院生命科学研究部構造機能解析学分野  
福島 万奈：旧 金沢医科大学臨床病理学  
新 信州大学医学部分子病理学  
塩沢 英輔：旧 昭和大学医学部第二病理学  
新 昭和大学医学部臨床病理診断学  
千葉 貴人：旧 九州大学病院皮膚科  
新 Vanderbilt University  
加藤 哲子：旧 鶴岡市立荘内病院中央検査科科長  
新 弘前大学医学部附属病院病理部准教授  
山島 一郎：旧 岡山医療センター臨床検査科  
新 広島市立広島市民病院病理診断科

## 《新入賛助会員》

ノバ・バイオメディカル株式会社

## 《退会会員》（敬称略）

益田 順一：鯉沢社会保険介護老人保健施設サンビュー

## かじかざわ

岡山 昭彦：宮崎大学検査部  
栗林 景晶：札幌医科大学臨床検査医学講座

## 《訃報》

安田 和人先生（本会有効会員）：  
平成25年11月23日 逝去  
橋本仙一郎先生（本会有効会員）：  
平成26年2月4日 逝去  
菅野 剛史先生（本会名誉会員）：  
平成26年3月16日 逝去  
ご冥福をお祈り申し上げます。

## 【平成26・27年度役員のお知らせ】

平成26・27年度役員として以下の先生が就任されました。

《平成26・27年度日本臨床検査専門医会役員》（敬称略）  
会 長：佐守 友博  
副 会 長：小柴 賢洋（渉外委員会委員長），東條 尚子  
監 事：高木 康，土屋 達行  
常任幹事：池田 均（資格審査・会則改定委員会委員長），  
菊池 春人（教育研修委員会委員長），  
木村 聡（広報委員会委員長），  
佐藤 麻子，  
佐藤 尚武（保険点数委員会委員長），  
三宅 一徳（庶務・会計幹事），  
宮地 勇人（情報・出版委員会委員長），  
米山 彰子  
全国幹事：五十嵐雅彦，上原 由紀，大谷 慎一，  
萱場 広之，河野 誠司，紀野 修一，  
清水 力，ゞ谷 直人，下 正宗，  
末広 寛，杉浦 哲朗，藤原 久美，  
松永 彰，宮崎 彩子，村上 純子，  
村田 哲也，柳原 克紀，和田 隆志，  
渡邊 卓

## 【平成26・27年度各種委員会委員のお知らせ】

平成26・27年度各種委員会委員が決定いたしましたので  
お知らせします。（敬称略）

## ＜情報出版委員会＞

宮地 勇人（委員長），安東由喜雄，清水 力，  
信岡 祐彦，福地 邦彦，増田亜希子，盛田 俊介

## ＜教育研修委員会＞

菊池 春人（委員長），浅井さとみ，北島 勲，  
諏訪部 章，宮崎 彩子，村田 哲也，米川 修

## ＜資格審査・会則改定委員会＞

池田 均（委員長），河野 誠司，下 正宗，  
下澤 達雄，松浦 知和，村上 純子，渡辺 卓，  
土屋達行（アドバイザー）

## ＜広報委員会＞

木村 聡（委員長），上原 由紀，小倉加奈子，  
日高 洋，船渡 忠男，正木 浩哉，三宅 紀子，  
宮崎 彩子

<渉外委員会>

小柴 賢洋 (委員長), 小倉加奈子, 木村 聡,  
鯉淵 晴美, 小林 礼, 下澤 達雄, 長井 篤,  
村上 純子

<保険点数委員会>

佐藤 尚武 (委員長), 浅井さとみ, 大谷 慎一,  
尾崎由基男, 佐守 友博, 島崎 英幸, 清水 力,  
細川 直登

**【平成 26 年度行事予定】**

平成 26 年度 日本臨床検査専門医会の行事予定をお知らせいたします。

開催日時、場所の変更が生じる場合があります。変更があり次第 JACLaP WIRE、JACLaP NEWS でお知らせします。その都度ご確認ください。

平成 26 年

- 5 月 25 日 (日) 第 83 回教育セミナー (慶應義塾大学)  
5 月 30 日 (金) 第 2 回全国幹事会 (北海道大学医学部  
学友会館 フラテ)  
5 月 30 日 (金) 第 4 回生涯教育講習会 (北海道大学医学部  
学友会館 フラテ)  
5 月 30 日 (金) ~31 日 (土) 第 24 回日本臨床検査専門  
医会春季大会 (北海道大学医学部学友会館  
フラテ)  
5 月 31 日 (土) 第 44 回日本臨床検査専門医会総会  
(北海道大学医学部学友会館 フラテ)  
7 月 24 日 (木) 第 31 回臨床検査振興セミナー  
(東京ガーデンパレス)  
9 月 27 日 (土) 第 2 回常任幹事会  
(日本臨床検査専門医会事務局)  
11 月 11 日 (火) 臨床検査の日  
(関連イベントの開催については未定)  
11 月 22 日 (土) 第 3 回全国幹事会  
(福岡国際会議場)  
11 月 22 日 (土) 第 45 回日本臨床検査専門医会総会  
(福岡国際会議場)  
12 月 20 日 (土) 第 3 回常任幹事会  
(日本臨床検査専門医会事務局)

**【第 83 回教育セミナーについて】**

平成 26 年度日本臨床検査専門医会第 83 回教育セミナーは下記の要領で開催されます。

実施日時: 平成 26 年 5 月 25 日 (日) 9:00~17:00

実施場所: 慶應義塾大学医学部 (東京都新宿区信濃町)

内容: 講義: 臨床検査室管理総論/一般臨床検査学/  
臨床血液学/臨床化学・免疫学/臨床微生物学/  
輸血学/臨床生理学

実技デモンストラーション: 臨床微生物学/輸血学

参加費: 10,000 円 (昼食弁当代込み)

(参加募集は締め切っております。)

**【平成 26 年度第 24 回春季大会のお知らせ】**

大会長: 清水 力 准教授

(北海道大学病院検査・輸血部長)

開催日時: 平成 26 年 5 月 30 日 (金), 31 日 (土)

開催場所: 北海道大学医学部学友会館フラテホール

詳細は以下でご確認下さい。充実したプログラムです。  
多くの会員の参加を望みます。

<http://www.jaclap.org/spring/pdf/24spring.pdf>

**【第 4 回生涯教育講演会のお知らせ】**

すべての会員を対象としたリスクマネジメントと検査室管理に関する講演会です。

臨床検査専門医の方は、資格更新の単位 5 点を取得することができ、臨床検査管理医の方も資格更新の単位 5 点を取得することができます。また、本講演会は、日本臨床検査医学会のリスクマネジメントに関する講習会のひとつとして認定されています。

開催日時: 平成 26 年 5 月 30 日 (金) 15:30~17:30

(第 24 回日本臨床検査専門医会春季大会の前に開催されます)

開催場所: 北海道大学医学部学友会館フラテホール

1. 北大病院の情報システムの紹介とセキュリティについて  
遠藤 晃先生 (北海道大学病院医療情報企画部部長・准教授)
2. 農畜産品の安全性・機能性評価試験と品質管理

山口昭弘先生 (酪農学園大学農食環境学群食と健康学群応用微生物学教授)

**【平成 26 年度会費振り込みのお願い】**

平成 26 年度の会費振込用紙をお送りしましたのでお振込をお願い致します。尚、未納分のある会員の方々は合計額をお振込ください (納入状況は振込用紙に記載してあります)。

尚、平成 25 年度より、満 70 歳以上の正会員の年会費は、5 千円となりました (平成 24 年 11 月 29 日 会則改定)。

平成 26 年度年会費: 1 万円

平成 26 年度年会費

(平成 26 年 1 月 1 日現在、70 歳以上の方): 5 千円

郵便振り込み口座: 00100-3-20509

加入者名: 日本臨床検査専門医会事務局

ご自身の振り込み状況が不明な先生は、事務局まで E-mail または FAX でお問い合わせください。

過去 2 年間に会費を滞納している先生には、Lab CP、JACLaP NEWS、要覧の発送を停止いたします。悪しからずご了承下さい。

**【住所変更・所属変更に伴う事務局への通知について】**

住所・所属の変更に伴って定期刊行物、JACLaP WIRE など電子メールの連絡や定期刊行物が届かなくなる会員がいます。勤務先、住所および E-mail address 等の変更がありましたら必ず事務局までお知らせ下さい。変更事項はホームページから【会員情報変更届】をダウンロードしてそれに記載し、FAX あるいは E-mail で日本臨床検査専門医会事務局宛てにお送りください。

## 【会員の声】

## 臨床検査専門医となって

平成 25 年度の臨床検査専門医試験にて合格させて頂き、この執筆の機会を頂きました。これまでご指導を頂いた先生がたに感謝申し上げます。

私は昭和 63 年、医学部卒業以来、内科(腎臓内科)を業としてきました。臨床と基礎研究との接点、臨床への還元を考えていく上で、臨床検査医学の重要性を認識するとともにその研究・開発の魅力が大きな推進力となっていました。平成 19 年、現在の教室を主宰させて頂くことになり、あわせて附属病院の検査部長も拝命致しております。平成 24 年からは東海北陸支部理事もつとめさせて頂きました。平成 19 年に臨床検査管理医の資格を得ましたが、専門医試験は別件がいつも重なり、受験がのびのびになっておりました。今回、家族旅行で九州に行き、帰路につく家族を見送ってから初めて受験を致しました。成績に関しては、決してほめられるようなものではないことは自覚しております。試験結果とそのコメントは検査部の部員にも開示しようと受験時から決めており、実際に話をしました。また、教室の酒井佳夫准教授、血液浄化療法部の古市賢吾部長が専門医試験に先に合格しており、なんとか面目が保てたことも安堵しました。重鎮の先生との約束もはたせたこともよかったと思っております。検査部の部員にとりましても、「部長も専門医資格をとるべく努力をしているので、我々も専門技師資格をとろう」と意識が向上してくれたことも、多少貢献できたかなと思っております。現在、専門医制度は改革の時期にあります。臨床検査専門医は基本領域にあたり、文字通り重要な位置にあることは論を待ちません。今後、質を担保しながら、一方で裾野も広げ、ますます発展していく、そういった少なくとも双方向性の視点と議論がこれまで以上に求められるように思えます。

臨床検査専門医の視点は診療、研究、教育のいずれの場面でも多に生かせるものだと実感しています。たとえば、臨床と研究の接点としての検査部のありがたさです。大学院生、研究者、医師はもちろんのこと、臨床検査技師、他学部の院生、管理栄養士など様々な職種の皆様と一緒に臨床をふまえて研究に取り組むことが可能です。実際、検査部の臨床検査技師の皆様は日常の臨床に加えて、検査部ならではの研究を行おう、を合い言葉に研究を展開してくれています。腎臓学と臨床検査医学を通じて、未病から疾病に至る一連の病態を一丸となって理解すべく、「Comprehensive Medicine in Humans」という造語とそのロゴを作成しました。細々ではありますが、ようやく少しずつ成果があがり、論文でも発表ができる状態になって参りました。また、ISO15189 にも平成 24 年に認定され、意識のうえでも新たなステージを迎えました。今後も、血液情報統御学、検査部、腎臓内科がチームとして診療、研究、教育にあたり、少しでも患者の福音につながる展開ができればと考えております。今後も引き続き、皆様にはご指導を頂ければ幸甚に存じます。

(金沢大学大学院医薬保健学総合研究科血液情報統御学  
同附属病院 検査部、腎臓内科  
和田 隆志)

皆様、はじめまして。岡山医療センター皮膚科の梅村啓史と申します。このたび臨床検査専門医として、お仲間に加えていただく事となりました。どうぞよろしくお願い致します。

私は平成 16 年に千葉大学医学部を卒業し、平成 18 年に野村文夫教授が主宰される同大学の検査部・遺伝子診療部に入局しました。野村先生の教室では大学院生としてプロテオーム解析研究を行いながら、遺伝カウンセリングや学生教育、他科の大学院生の指導等に従事しておりました。千葉大学での仕事は非常にやりがいがあり、楽しく充実した日々を過ごしておりましたが、もう一度臨床の現場に立ちたいと考え、学位取得後の平成 22 年に辞職させて頂くこととなりました。その際、私の地元ということで縁もあり、岡山大学の皮膚科学教室(岩月啓氏教授)でお世話になり始めました。検査専門医の取得は千葉大での入局時に掲げた目標で、野村先生との約束でもありました。それを果たせずに千葉を去るのは大変心残りでしたが、「いつかきっと専門医を取るチャンスは巡ってくる。その時まで我慢して待とう。」と考え、臨床検査医学会の会員資格は維持しておりました。

岡山大学に異動してからは、想像していた以上に大変な生活が待っていました。何しろ初期研修医以来、5年ぶりの臨床です。大学病院の皮膚科業務はなかなかハードなもので、全身麻酔の手術、皮膚リンパ腫の化学療法、膠原病や重症熱傷の全身管理などは、内服薬の出し方すら忘れつつあった私にはまさに異次元の経験の連続でした。目の前で起こる出来事を切り抜けるのに精いっぱいの中で、検査専門医をいつか必ず取るんだという決意は徐々に薄れていってしまいました。そんな私に転機が訪れたのは平成 24 年の秋頃だったと思います。皮膚科の岩月教授がそれより少し以前から検査部長を兼務されるようになり、「そういえば梅村君は検査部出身だったから、検査専門医をとってみてはどうか？」と私を検査部所属の医員としてくださったのでした。そうして背中を押していただくと俄然やる気が出るもので、何としても合格せねばと受験の準備を始めました。

とはいえ、周囲に専門医試験を受験された方がいるわけでもなく、どこから勉強すればよいのか全く分からないところからの出発となりました。実技も誰かに指導してもらえない状況になかったため、材料はすべて自前で用意し、千葉で学生実習の指導をしていた頃の手順を思い返しながら練習を繰り返しました。闇雲にでも努力したのが良かったのでしょうか、それとも普段から患者さんの生きた検査データを見ていた経験が私を助けてくれたのでしょうか。結果はどうか合格をいただくことができました。東京オリンピックの招致成功に日本中がわいた 2 日後のことです。7年越しの目標を達成し、私にとっても忘れられない夏となりました。

こうして僥倖にも恵まれて取得した検査専門医ですが、いざ資格を得てみると自分がそれにふさわしい医師であるのかどうか、甚だおぼつかなく感じられてきます。ここをゴールとするのではなく、むしろスタートとして捉え、皮膚科医としての経験と検査医としての視点が互いに補完しあうような医療人として成長できれば、と今は思い描いております。最後になりましたが、今回の受験にあたり、様々なご尽力をいただいた岡山大学皮膚科の岩月啓氏教授、検査部の岡田健技師長、岡山医療センター皮膚科の浅越健治医長、そして今日

までご指導いただいた千葉大学の野村文夫教授に深謝申し上げます。ありがとうございました。

(岡山医療センター皮膚科 梅村 啓史)

## ごあいさつ

みなさま、はじめまして。順天堂大学医学部付属浦安病院におります橋爪茜と申します。2013年夏に臨床検査専門医に合格いたしました。

私は現在病理専門医として病理診断科に所属しておりますが、病理診断科・臨床検査医学科あわせた検査科としても活動しております。

当院は1984年に地域の基幹病院として開設され、豊富な臨床症例のもとプライマリケアから高度な治療までを扱う大学病院として常に「患者さま中心」の医療を行っています。現在の病床は653床・一日の平均外来患者数は2000人を超えますが、千葉県より132床の増床が許可され、平成28年度開院を目標に新棟の建設に着手することが決定致しました。新棟ができますと一般病床が増えるだけでなく、新生児集中治療室(NICU)や救急救命センターの他にICU、CCUなども増床し、さらに外来の診療スペースも増えることとなります。それにより臨床検査の需要も増加することが見込まれます。当然、迅速かつ正確な検査データの提供が求められます。即ち、「いかに効率的に業務を遂行できるか」マネジメントの手腕が試されるものと考えます。臨床検査医学科に従事する臨床検査技師と共に質の高い医療を患者さまへ万遍なく提供する事を日々心掛けて参りたいと考えております。

現在の臨床検査医学科は医師1名(三宅一徳先生)、臨床検査技師37名(うち6名は、病理診断科配属)、看護師2名、事務員4名で構成されています。臨床検査医学科は、血液や尿などの検査と心電図検査、超音波検査、呼吸機能検査、脳波検査、聴力・平衡機能検査等、直接患者さまにおいでいただく検査の両方を担当しており、いずれも検査専門医と各分野で専門トレーニングを積んだ臨床検査技師が協働して実施しております。患者さまの診断結果を左右する検査結果の精度にも細心の注意を払っており、検査精度の第3者評価である「日本医師会臨床検査精度管理調査」でも極めて良好な成績を維持しております(平成24年度実績：満点)。また、千葉県における生化学検査の標準検査値を提供するリファレンスラボラトリーとして認定されています。一方、チーム医療として臨床検査技師が、感染対策委員会や栄養サポートチーム(NST: Nutrition Support Team)にも参画し、検査の専門性を発揮しています。

教育面では医学生や、初期臨床研修医をはじめとする多くの若い医師達が各専門分野の教育熱心なスタッフの指導のもとに日々研鑽を積んでおり、臨床検査医学科もその一役を担っています。特に、微生物検査や超音波検査の習得を希望する研修医が多いのが特徴です。これら教育を通し、将来臨床医へ羽ばたくであろう研修医と共に検査理論を共有していくことは、信頼関係を築くとともに強固な医療連携が育まれるものと確信しております。

今後は、病理専門医と臨床検査専門医2つの資格を、いかに活用していくか、またいかに更新していくかを考えつつ、医学部学生の臨床実習や卒業研修・看護師の育成・その他専門職種の臨床教育にも力を入れ、地域医療に貢献できるよう

自らの研鑽に励み、臨床検査専門医の立場から医学の発展や地域医療の充実・向上に貢献したいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

(順天堂大学医学部付属浦安病院検査科 橋爪 茜)

## 臨床検査専門医試験を終えて

みなさま、はじめまして。岐阜大学病院検査部の伊藤弘康と申します。平成25年度から臨床検査専門医の仲間入りをさせて頂きました。はじめに、簡単ですが私の略歴をご紹介します。私は、1994年に岐阜大学医学部を卒業し、岐阜大学附属病院第一内科(現消化器・血液内科)に入局しました。以後、5年間、岐阜大学病院、朝日大学附属村上記念病院、長浜市立病院にて消化器内科医として臨床中心に研鑽を積みました。卒後6年目で岐阜大学医学部大学院へ入学し、肝免疫をテーマとして研究を行いました。大学院卒業後は、諸事情により愛知医科大学微生物・免疫学講座に助手としてお世話になることとなりました。愛知医科大学では、引き続き肝免疫の研究と新たにToll様受容体の研究を行いました。2006年からは、再び岐阜大学医学部へ戻り、病態情報解析医学でお世話になっております。本教室は清島満教授が主宰されており、先生は岐阜大学附属病院検査部の部長も兼任されております。この時から、私と臨床検査医学との関わりがはじまりました。途中、2年間のアメリカへの留学もお許しいただき、昨年度、臨床検査専門医試験を受けることとなりました。本検査部に携わる医師は4名いますが(輸血部まで合わせると6名)、臨床検査専門医の資格を有しておられるのは清島先生のみであり、昨年度、やっと受験する決意を固め臨みました。受験するにあたり、清島先生より臨床検査専門医会が主催する教育セミナーへの参加を勧められました。多くの諸先輩方が、「会員の声」でも書かれているように、本セミナーの受講は臨床検査専門医試験の受験に本当に役立ちました。ただそればかりでなく、今まで内科医をやってきて、「臨床検査」についてはある程度分かっているつもりでいましたが、たった1日のセミナーですが新たな発見がいくつもあり、今後の臨床に大いに役立つものだと思えました。セミナー後から得た知識を基に専門医試験に向けて2~3か月間勉強の日々でした。本当に久しぶり(15年ぶり)の試験勉強だったため、最初どのように勉強したらよいか戸惑いました。当検査部の技師の方々には、実技試験のための勉強につきあって頂き大変感謝しております。これで、晴れて臨床検査専門医の資格を得たわけですが、まだまだ分からないことも多く、同僚の医師や技師の方々と一緒に勉強していきたいと思えます。

現在は、大学病院という性格上、診療・研究・教育に従事しております。診療では、検査部での業務ということになりますが、人員配置などを含めた検査部でのマネジメント、内部の精度管理、様々な会議への出席、また、もともと消化器内科医なので、生理検査室で腹部エコーを技師の方々と行っております。研究面では、免疫学を中心として、肝炎、肝線維化、肝再生を解析しており、最近では腫瘍免疫についても研究しております。教育面では、臨床実習を主に担当し、近隣の大学へも将来臨床検査技師を目指す学生さんたちに講義を行っております。

今後は、清島先生や検査技師スタッフのお手伝いが少しで

もできるよう努力したいと思います。まだまだ、臨床検査専門医として至らぬ点が多々あるかと思しますので、専門医会の先生方のご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

(岐阜大学大学院医学系研究科病態情報解析医学  
伊藤 弘康)

### 臨床検査専門医試験を受験して

この度、臨床検査専門医の仲間入りをさせていただきました角野博之と申します。私は平成2年に群馬大学医学部を卒業し、群馬大学医学部第二内科(循環器内科)に入局し、その後は関連病院において循環器内科(専門分野は高血圧)および一般内科の診療に従事しておりました。平成18年より私立の医療系大学に異動し、看護学生に対して解剖生理学や生化学などの基礎看護学の講義を担当しておりました。平成22年より大学の部活の先輩であり高校の先輩でもある群馬大学大学院医学系研究科臨床検査医学講座教授の村上正巳先生にお声をかけていただき群馬大学医学部附属病院検査部に異動し、現在に至っております。普段、検査部業務としては各部署のトラブル発生時の対応、採血室と生理機能検査室における患者急変時の対応、未到着検体の確認、検査外来診療、臨床検査技師作成の超音波レポートの最終チェックなど、教育としては医学科および保健学科学生の講義と実習指導、研究としては性ホルモンによる動脈硬化形成機序の解明、生活習慣病と血液レオロジーの関係解明などを行っています。

検査部に異動後ほどなくして、当検査部では私以外の受験資格のある医師は全員臨床検査専門医を持っていることを知りました。検査部に所属している立場上、私も臨床検査専門医を取得しなければならぬ状況にあることを悟り、すぐに臨床検査専門医会に入会しました。翌年、教育セミナーに参加し、講師の先生に丁寧に説明していただきましたが、日常業務にてほとんど扱うことがない(専門外の)血液、微生物、輸血などの分野は全くわかりませんでした。受験までの間、筆記試験対策として、教育セミナーでいただいたテキストや勧められた参考書を中心に勉強しました。実技試験の輸血試験対策として、輸血部の主任検査技師に丁寧に血液型判定、交差適合試験を4~5回指導していただき、概ね出来るようになりました。また、血液検査試験対策として、血液部門の主任臨床検査技師に数回指導していただき末梢血・骨髄像が少し読めるようになりました。臨床微生物試験対策については、細菌検査室の若手臨床検査技師にお願いし、菌のグラム染色、培地でのコロニー形成の観察、薬剤感受性検査、薬剤

耐性菌の同定法などの実習を何度も指導していただきました。その甲斐あってか紆余曲折がありましたが、何とか合格できました。

今回の臨床検査専門医試験の受験勉強は、単なる臨床検査の知識や技術の修得だけでなく、当検査部での使用検査機器名、検査項目、検査件数、検体検査管理加算、外来迅速検体検査加算、精度管理など検査管理・運営を行っていく上で必要な多くの知識の修得にも役立ち、とても勉強になりました。また、実技試験対策には臨床検査技師の力が非常に重要であることから、普段から臨床検査技師と良好な関係を築いておくことが大切であることを実感いたしました。

まだまだ臨床検査専門医としては未熟ですが、今後、胸を張って臨床検査専門医と言えるように更なる研鑽を積んでいきたいと思しますので、ご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。最後に、受験に際して大変お世話になりました当臨床検査医学講座教授はじめ当検査部の医師や臨床検査技師の方々、さらに当大学輸血部の検査技師の方々に心より御礼申し上げます。

(群馬大学医学部附属病院検査部 角野 博之)

### 【編集後記】

風にそよぐ木々の緑もまぶしい季節となりました。巻頭言は春季大会長の清水力先生にお願いし、春季大会のプログラムについてわかりやすくご紹介いただきました。「会員の声」には5名の先生方からご寄稿いただいております。貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございます。ご寄稿いただいた先生方に、心より厚く御礼を申し上げます。

新年度に入り、新入会員の先生方も多くいらっしゃいますので、JACLaP NEWSの簡単なご紹介をさせていただきます。JACLaP NEWSは日本臨床検査専門医会の会員相互の連携を深める目的で年4回刊行している会報です。事務局からの連絡事項を掲載するほか、常任・全国幹事の先生方にご執筆いただく「巻頭言」、自由テーマのコラム「会員の声」、各種講演会の総括などを掲載しております。

「会員の声」は、新たに臨床検査専門医になられた先生方のご寄稿が多くなっておりますが、経験豊かな先生方からの寄稿も広く募集しております。会員の先生方の専門分野は多岐にわたります。技術やご経験など、皆様にご紹介いただければありがたく存じます。よろしくお願い申し上げます。

(編集主幹 東京大学医学部附属病院検査部  
増田 亜希子)

#### 日本臨床検査専門医会

会 長：佐守友博、副会長：小柴賢洋(渉外委員会委員長)、東條尚子

常任幹事：池田 均(資格審査・会則改定委員会委員長)、菊池春人(教育研修委員会委員長)、木村 聡(広報委員会委員長)、

佐藤麻子、佐藤尚武(保険点数委員会委員長)、三宅一徳(庶務・会計幹事)、宮地勇人(情報・出版委員会委員長)、米山彰子

全国幹事：上原由紀、大谷慎一、萱場広之、河野誠司、紀野修一、清水 力、メ谷直人、下 正宗、末広 寛、杉浦哲朗、藤原久美、

松永 彰、宮崎彩子、村上純子、村田哲也、和田隆志、渡邊 卓

監 事：高木 康、土屋達行

情報・出版委員会：

委員長：宮地勇人

委 員：安東由喜雄、清水 力、信岡祐彦、福地邦彦、増田亜希子、盛田俊介

#### 日本臨床検査専門医会事務局

〒101-0027 東京都千代田区神田平河町1番地 第3東ビル908号

TEL: 03-3864-0804 FAX: 03-5823-4110 E-mail: senmon-i@jaclp.org